

Europe Trends

発表日: 2020年12月11日(金)

英EU間の協議決裂まで残り 48 時間

～そして決戦の時を迎える～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

◇ 英EUトップ会談が不発に終わり、事態の進展がないまま、13日の合意期限が近づいている。公平な競争条件からの逸脱をいつ誰がどのように判断するか、どのような報復措置や是正措置を認めるかを巡って、両者の主張は平行線のままだ。合意なしのリスクが徐々に高まりつつある。

欧州委員会は10日、英EU間の将来関係協議が合意できずに移行期間が終了する事態に備えた非常時対応策を発表した。英国のジョンソン首相と欧州委員会のフォン・デア・ライエン委員長の9日夜の会談はこう着する協議の打開策を見つけられないまま終わったが、13日まで協議を継続することが確認された。その後も協議を継続する意味があるかを、13日に決断するものと見られる。今回の欧州委員会による非常時対応の発表は移行期間終了が間近に迫っていることを受けた措置で、協議決裂を見越した動きではない。合意なし（FTA合意なしで移行期間を終了する）時の英EU間の物流混乱を回避するため、移行期間終了から6ヵ月間、英EU間の飛行機の運航と安全証明、陸上貨物・旅客輸送をこれまで通りに認める。また、英EUの漁業者に対して最長1年間（2021年末までか、英EU間で漁業合意に至るまでの間）、双方の海域における操業継続を認める。

争点の1つである漁業問題は、英海域でのEU漁船の漁獲量を何割手放すか、手放すまでにどの位の猶予期間を設定するかを巡って両者の見解が割れている。これはもっぱらどこで線を引くかの陣取り合戦に近く、最終的に妥協点を見出すことはそれほど難しくない。より大きな障害となっているのが、公平な競争条件とそれに関連したガバナンスの問題だろう。英国とEUは現在、同じEUルールに基づいて様々な政策運営を行っている。移行期間終了直後に両者の規制に大きな相違はないが、時間の経過とともに規制に乖離が出てくる可能性がある。EU側は、英国が将来にわたって産業補助金、環境、労働者保護に関するEUルールを自動的に受け入れることや、EUルールから大幅に逸脱する場合、英国産物品に関税を賦課するなどの報復措置を合意文書に盛り込むことを要求している。英国側は交渉妥結にある程度の譲歩が必要と考えているものの、自動的なEUルール受け入れや報復措置の発動に強く反発する。公平な競争条件からの逸脱をいつ誰がどのように判断するか、どのような報復措置や是正措置を認めるかを巡って、両者の主張は平行線のままだ。

ジョンソン/フォン・デア・ライエン会談が不発に終わり、事態の進展がないまま、交渉打ち切りまでの72時間のうち24時間が経過した。ジョンソン首相は10日、①EU側の主張が英国の主権を脅かすもので受け入れられず、このままの形で合意することはできない、②協議が決裂する恐れがあり、合意なしに備える必要があると発言。EU側の譲歩を求めるが、フランスのマクロン大統領やドイツのメルケル首相はジョンソン首相との直接対話を固辞することで、逆に英国側のさらなる妥協を促している。せめぎ合いが続くなか、いよいよ週末に決戦の時を迎える。

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。